

【継続・移出入コンテナ貨物事業】事業計画(実施状況報告)書

記入例(事業終了時)

申請者(補助事業者)名	株式会社〇〇〇〇	事業名	継続・移出入コンテナ貨物事業
輸送貨物の品目	化学薬品等	【任意】転換前の利用港 注1	〇〇港

注1) 複数記入可。

前年度 利用実績 (TEU)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ①
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
今年度 利用見込み (TEU)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ②
	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
今年度 利用実績 (TEU)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ③
	20	20	30	10	15	20	20	15	10	30	30	20	240
【任意】主たる物流拠点と 利用港の陸送距離 注2 単位:km		事業実施前の輸送距離					事業実施による輸送距離					短縮距離 ④	
		50					25					25	

注2) 事業実施前に複数の港を利用していた場合の「事業実施前の輸送距離」は、原則として、利用割合の最も多い港を利用したものと想定して記入して下さい。

増加量 (利用見込み)	②－①	120	TEU	増加量 (利用実績)	③－①	120	TEU
補助申請額 (利用見込み)	(②－①) × 10,000円	1,200,000	円	補助金請求額 (利用実績)	(③－①) × 10,000円	1,200,000	円
【任意】CO2排出量削減(抑制)予定量	(②－①) × コンテナ重量 × 短縮距離(④) × CO2排出量原単位 注3、注4			11.4			トン/年
【任意】CO2排出量削減(抑制)実績量	(③－①) × コンテナ重量 × 短縮距離(④) × CO2排出量原単位 注3、注4			11.4			トン/年

注3) 「コンテナ重量」は、「22t」として算出いたします。

注4) 「CO2排出量原単位」は、陸送(トラック)の利用を仮定し「173g-CO2/t/km」として算出いたします。

荷主企業名 注5	△△△株式会社	

注5) 物流子会社にて申請を行う場合は、当該物流子会社が取り扱う関連会社の企業名を全てご記入ください。

船荷証券等に記載される ShipperまたはConsignee名 注6	〇〇〇〇LIMITED		

注6) 商社を利用して輸出入される場合で、ShipperまたはConsignee名が当該商社名となる場合は、当該商社のShipperまたはConsignee名もご記入ください。

交付条件を達成した場合、
この金額を
「実績報告書(第6号様式)」の
「4 補助金交付見込額」欄に
記入してください。

補助申請額(利用見込み)を上回
る場合は、変更手続きが必要で
す。